

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度第7回有田区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【協議事項】

- ・地域活性化の方向性について（公開）

## 3 開催日時

令和5年2月6日（月）午後6時30分から午後7時25分

## 4 開催場所

上越市カルチャーセンター ミーティングルーム

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 熊木敏夫（会長）、樺沢早苗（副会長）、五十嵐里枝、池田憲雄、牛木幸一、内山幸一、荻原慶一、栗間良子、高橋邦夫、高橋秀樹、藤井英夫、山崎栄一、渡辺恵子、渡邊瑞穂（欠席者3名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小川係長、千田主任

## 8 発言の内容

### 【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【熊木会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：内山委員、荻原委員に依頼

議題【協議事項】地域活性化の方向性について、事務局へ説明を求める。

### 【小川係長】

・資料No.1「今後の有田区地域協議会の活動・協議について」に基づき説明

本日は、地域活性化の方向性の作成に向けて、これまで出された意見を基に構成要素を検討していただきたいと思う。開催案内に同封した「有田区地域活性化の方向性について出された意見（再整理）」は、先回の会議の資料No.1を区分ごとに再整理したものである。これを基に構成要素に何を入れたいか、各委員より考えてきていただいたと思うので、発言いただきたい。事務局でホワイトボードに書き出すので、それを見て構成要素の検討をお願いしたい。

【熊木会長】

・発言ではなく、各委員の検討シートを回収し、ホワイトボードへ記載することとする事務局より、皆さんの意見をホワイトボードに記載していただいた。5つに分かれているので、各コーナーのポイントを説明していただきたい。

【小川係長】

まず、自然環境・住環境・防災の分野では「住んでいて心地よい雰囲気を維持する」「地域を災害から守るための仕組みづくり」「若い世代が住みやすい住環境の発信」という意見があった。

【熊木会長】

3つの意見を1つの文言にして良いのではないかな。

【小川係長】

次に、学校コミュニティ・社会教育については「学校コミュニティを活用し、地域との交流を広げる」「学校コミュニティを中心としたイベントや集まりの推進」という意見があった。

【熊木会長】

説明に対し、意見を求める。

【高橋邦夫委員】

文言の違いはあるが、同じようなことを言っているなので、それをまとめてはどうか。

【小川係長】

住民福祉・交流促進については、「老若男女が交流し住みやすい地域づくり」「カルチャーセンターを中心とした住民交流の場の創設」「外国人との交流、グローバルな感覚を養う」という意見があった。

【熊木会長】

「カルチャーセンターを中心とした中で、グローバルな感覚を養う、世代間の交流を目指す」という感じでまとめてはどうか。

**【小川係長】**

地域融和・施設活用については「住民の出会いの場の提供」「有田地域共通のイベント」という意見があった。

**【熊木会長】**

これは、住民福祉・交流促進と合わせてもいいのではないかと。

**【小川係長】**

歴史・文化・伝承については「歴史的な素材、歴史的な史料の継承」「有田区の歴史の学習」「歴史を絶えることなく守り続ける」「地域の祭礼、イベントの継承」という意見があった。

**【熊木会長】**

これには、色々と活動実績等もあるので、どうしたらよいか。

**【内山委員】**

私の町内では、有田地区からさいの神の補助金をもらっている。今、農家の戸数が減ったので、年々藁の確保が大変である。芯は孟宗竹だが、これも昔ながらに多く生えている家が限られてきている。材料集めが困難になってきているのが現状である。コロナ禍なので、規模を小さくして実施しているが、若者は藁でやることを継承する熱意が薄くなっているように感じる。できれば、先人がやってきたものの形を無くしてほしくないという町内の人に話してきている。有田区で祭りなどの催し物は、後の世まで続けていけるようにしてほしい。昔からの催し物は地域として火を消してほしくないと思っている。

**【熊木会長】**

地域の祭礼、イベントの継承だが、基本的にさいの神であれば、やっているところは限られる。やっているのは、小猿屋地区と三田、田園、安江、佐内である。どこも藁を使っていて、これを継承していかななくてはならないと思っている。安江の場合、材料が集まらないということで、各町内会が人を出して、秋作業と称して藁集めをしている。コンバインで藁を裁断しないで藁を落としてそれを保管して当日使うというやり方をしている。本来は集落ごとにやるのが理想だが、将来的にはどこかで集約して実行委員会方式でやっていかないと駄目になるのではないかと。

**【高橋秀樹委員】**

地域の祭礼については、神社や神事がそれぞれ違う。だから、有田区全体でやるというのは、存亡の危機になった時に初めて考えることで、各町内では、水の神様だからさいの神は駄目という例など、いろいろあると思う。それから、地域の祭礼と一言でまとめているが、夏の祭りもそれぞれが違う。そこを有田全体として取り上げるのはいかなものか。ただ、連携としてどのように存続させていくかの課題は、各町内がそれぞれでやることであって、有田地区全体でやるのは、神社の宮司が全部違うので、なかなか難しいと思う。

#### 【高橋邦夫委員】

歴史的な文化財には、有形文化財と無形文化財があり、祭りは無形文化財である。そういうものを保護・継承していくという中で、有田区全体としてどのように援助できるかといった話になる。1つの祭りをどうこうするというのではなく、例えば、素材については、うまくコーディネートしてやろうとか、そういうことは援助していく。祭りそのものに入り込むことはできないと思う。ただ、この地域では、こんなユニークな祭りがあると紹介する場所を提供して、そこで、それぞれ困っていることを出してもらって、それに対して、どんな援助をしようかということになれば良いのではないかな。その先まであまり細かく言わないで、有田区にある歴史的な有形文化財、無形文化財を保護・継承していくということでよいのではないかな。

#### 【熊木会長】

では、今の意見をまとめてもらえばよいと思う。有田区の歴史の学習となると教材が必要になるので、各小学校では特に校外学習や地域を知る学習として行っている。小学生のほう結構やっているので、それを引き続き行う。災害に関しては、7・11の学習を毎年行っているんで、それを引き続きやるということになると思う。地域の祭礼は、神社系列が細かく分かれているので、ひとくくりにするわけにいかないんで、高橋邦夫委員が言われるように大きな括りの中で、継承していくという文言にしてはどうか。

他に付け足すことがないか、意見を求めるがなし。

では、これを事務局でまとめてもらって、提案することよろしいか。

(賛同の声)

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

#### 【中村センター長】

構成要素として出た意見を次回までに事務局でまとめて、提示したいと思う。それを

踏まえて表題部のたたき台になるような案も示したいと思う。

**【小川係長】**

・次回協議会：3月6日（月）午後6時30分から

**【熊木会長】**

新年度の地域独自の予算は、全区出たのか。

**【中村センター長】**

市全体の独自予算の状況は、2月20日に議会資料として皆さんに公表できる予定である。

**【熊木会長】**

次回の会議の際に配布してほしい。

他に何かないか。

**【牛木委員】**

事務局に依頼したいのだが、有田区の総数は何軒あるのか。その中で空き家がどの程度あるのか。世帯数の平均年齢は何歳か。各家庭の子どもの数は何人か。外国人労働者が、どの地区にどのくらいいるのか知りたいので、調べてまとめてきてほしい。

**【小川係長】**

直近の国勢調査の区ごとにまとめた資料の中から探してみたいと思う。

**【熊木会長】**

その資料を委員にも配布してほしい。

他にどうか。

**【高橋秀樹委員】**

物事を進めるのに、大筋の予定がないと前に進まない。予算取りするためではなく、具体的にやるのであれば、抽象的なものからどうやって落とし込むのか。なぜかという  
と、地域協議会自体が実行部隊ではないから、方向性を出した後、仕掛けなければならない。そういうことを調べたり、書くことが目的だったりして、落とし込んで実施しなかったらあまり効果がない。そこを肝に銘じてやらないと、あまりにも進んでいないと  
感じる。

**【中村センター長】**

事務局から状況報告を含め、資料No.1に沿って説明させていただく。本日の作業は、  
①有田区の地域活性化の方向性の作成で、有田区の地域活性化に向けてキャッチフレー

ズ、構成要素として、基本形にまとめていく作業をやっていただいた。今ほど、高橋秀樹委員より進みが遅いのではないかというご指摘があったが、次回、皆さんに完成に向け協議いただけるような具体的な案を事務局で作ってきたいと考えている。その後、地域活性化の方向性の協議の中で出された意見、課題の解消に向けた対応を図っていただければと思っている。こちらは、②自主的審議の決定として協議していても良いと思う。また、③地域団体の活動の支援として、令和6年度の予算に向けた活動ということで協議を進めて、課題などを意見交換しても良いかと思う。なお、今年度中に地域活性化の方向性の検討を着手してほしいという市からの依頼があり、地域自治区が28ある中で完成した区が、今の段階で5つである。来月決めていただければ、6番目か7番目と比較的早いほうではないかと思う。地域を元気にする具体的な協議に近いうちに入っていけるのではないかと思っている。

#### 【熊木会長】

- ・会議の閉会を宣言

#### 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

#### 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。